

取組6 快適な都市空間の創出

取組の評価

3.0

概ね順調

< 取組6の基本方針 >
1 良質な景観形成の推進
2 密集市街地への対策

3 計画的な市街地の形成
4 ICTインフラ整備の促進

【取組の目的】 地域に愛着と誇りを持てる景観づくりと良好な住宅環境の整備を推進し、質の高い快適な生活空間を創出します。

『 取 組 』 に 係 る 社 会 の 動 向 と 本 市 の 現 状

1 社会の動向

- ◎ 経済社会の成熟化に伴い、人々の価値観も経済的な充実から心の豊かな向上へと変化し、豊かな自然や美しい景観への関心も高まってきている。このような状況の中、自然や歴史と文化を基盤とした個性豊かなまちを適切に保全し、継承していくことが求められている。
- ◎ 近年、大規模集客施設や高層建築物の立地、色彩が目立つ建築物、無秩序な屋外建築物の増加など見られ、良好な景観形成の対応が求められている。
- ◎ 今後、市民生活の質的向上を図るためには、ネットワーク通信による情報・知識の共有化に対応しながら、新たなサービスや利便性といった価値や文化を生むなど、社会全体でその便益を享受することを目指していく必要がある。

2 本市の現状（主な取組）

- ◎ 本市では、適正かつ良好な市街地形成を図るため、都市計画法や各種計画に基づき、「袋井駅前第二土地区」、「（仮称）上山梨第三土地区」などの区画整理事業を推進している。
- ◎ 平成21年9月に「袋井市景観計画」を策定し、市民・企業・行政が協働し、自然や歴史や文化を基盤とした個性豊かなまちの景観を守り育てることにより、美しい景観が広がる市域の形成を目指している。
- ◎ 平成22年3月に「袋井市ＩＴＣ推進計画」を策定し、ネットワーク通信による情報・知識の共有できるまちづくりへの市民参加の促進やより便利で豊かな生活の実現、将来を担う人材育成に資することに取り組んでいる。

『 取 組 指 標 』 の 分 析 と 評 価 結 果

1 取組指標の評価 【※ 実績値は、各年度末における最新数値】

評価結果の平均値（A）

3.0

<評価基準> 4：達成率 ≥ 100％・前年比伸び率 ≥ 0％ 3：達成率 ≥ 100％・前年比伸び率 < 0％ 2：達成率 < 100％・前年比伸び率 ≥ 0％ 1：達成率 < 100％・前年比伸び率 < 0％

番 号	指 標 名	項 目	現状値(計画)	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
1	景観重要建造物等指定箇所数【箇所】	目 標 値	－	0	0	10	11	12	12		
		実 績 値	0	0	0						
		達成率	伸び率	－	－	－	－				
		評 価	－	1	1						
2	土地区画整理事業の実施面積【ha】	目 標 値	－	376.3	376.3	383.4	383.4	392.2	392.2		
		実 績 値	376.3	376.3	376.3						
		達成率	伸び率	－	－	100.0	0.0	100.0	0.0		
		評 価	－	4	4						
3	地区計画や建築協定により景観形成が図られた地区数【箇所】	目 標 値	－	20	20	20	20	22	23		
		実 績 値	20	20	20						
		達成率	伸び率	－	－	100.0	0.0	100.0	0.0		
		評 価	－	4	4						
4		目 標 値									
		実 績 値									
		達成率	伸び率								
		評 価									
【指標に影響を与えた主な要因】											
地区計画の策定を目指し、地域が中心となって検討会を組織し、協議を行っているが、個人の財産に規制をかけることになることから、その合意形成に時間がかかる。											

2 指標で表すことが困難な成果

都市計画地図情報システムの搭載内容を充実（地区計画、屋外広告物の規制区域等）したことで、市民への問い合わせに迅速に対応できるようになった。

『 主 要 事 業 』 に 係 る 事 業 評 価 表 の 評 価 結 果

1 主要事業の評価					
番号	主 要 事 業 名	H23 事業費 【千円】	事業評価表の評価結果		
			有効性	効率性	廃止の影響
1	袋井駅南地区まちづくり事業	56,579	4	4	4
2	※袋井駅前第二地区土地区画整理事業	113,481	4	4	4
3	※（仮称）上山梨第三土地区画整理事業	0	4	4	4
4	※（仮称）袋井駅南土地区画整理事業	0	4	4	4
5	建築確認支援システム運営事業	274	3	3	3
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
評価結果の平均値（B）		3.8	3.8	3.8	3.8

『 取 組 』 の 有 効 性 ・ 必 要 性 ・ 緊 急 性 の 評 価 結 果

1 取組の有効性等の評価 評価結果の平均値（C） 2.3

番 号	評 価 項 目	H22	H23	H24	H25	H26	H27	コ メ ン ト 欄
1	有 効 性 4. 想定どおりの成果 3. 概ね想定どおりの成果 2. 一定の成果 1. 想定した成果なし	4	3					◎ 「袋井市景観計画」などの基本的な方針を定め実行することで、市民の生活に身近な生活環境の一つであるまちの風景について市民の意識が高まり有効的である。 ◎ 建築物の高さ及び色彩の規制誘導は、良好な景観形成を図るうえでは、有効な手段と言える。
2	必 要 性 4. 極めて高まっている 3. 高まっている 2. 一定程度高まっている 1. 高まっていない	3	3					◎ 市民と行政による協働のまちづくりにより、地元と協力し一丸となってまちづくりを推進していく必要がある。 ◎ 景観形成の推進は、本市固有の特徴的な景観である「農の風景」の保全を図るとともに、これらと調和するまち景観の保全及び創出を図るため必要である。
3	緊 急 性 4. 極めて高まっている 3. 高まっている 2. 一定程度高まっている 1. 高まっていない	4	1					◎ 袋井駅第二区画整理事業は、事業完了年度を平成24年度から27年度に延長したが、事業費執行ベースで約9割を超えているため、早期の事業完了を目指して取り組む必要がある。 ◎ 景観づくりへの取組は、市民・企業・行政等が協働して進めていくことが求められており、長期的な目標を掲げ、時間をかけて進めていく部分もある。

『 取 組 』 の 総 合 評 価 と 今 後 の 展 開 方 向

1 総合評価 <<評価基準>> 4 ～ 3.6：順調 3.5 ～ 3：概ね順調 2.9 ～ 2：一部に改善を要する 1.9 ～ 1：全体的に改善を要する

取 組 の 評 価			コ メ ン ト 欄
3.0	概ね順調		◎ 土地区画整理事業等の基盤整備により、緊急車両通行の改善や建物の立て替えにより、想定被害倒数割合の減少などの防災性が向上することからも円滑な事業推進が求められる。 ◎ 都市計画決定は、都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、引き続き実施する必要がある。 ◎ 都市計画事業の基礎図である都市計画基本図の作成は、都市計画事業の推進に欠かせない基礎資料となるため必要である。
	各評価結果の平均値		
取組指標の 評価結果（A）	主要事業の 評価結果（B）	有効性等の 評価結果（C）	
3.0	3.8	2.3	

2 取組の基本方針別 今後の展開方向

番 号	取 組 の 基 本 方 針	H22	H23	H24	H25	H26	H27	今 後 の 展 開 方 向
1	良質な景観形成の推進	継続推進 ➡	継続推進 ➡					平成23年度から景観形成推進事業を推進しており、眺望地点、景観重要建造物、景観重要樹木の指定を目指していく。
2	密集市街地への対策	継続推進 ➡	継続推進 ➡					
3	計画的な市街地の形成	継続推進 ➡	拡充 ↶					地区計画により地域が主体となって無秩序な市街化を防ぎ、良好な市街地を形成できることから、地域住民と協力しながら、地区計画の策定に向けて取り組んでいく。
4	I C T インフラ整備の促進	拡充 ↶	継続推進 ➡					
5								
6								

【その他留意事項】

上山梨第三土地区画整理事業が、事業化すれば、上山梨第二地区との一体的な道路・公園等の公共施設の整備や土地利用により商住バランスのとれた安心・安全な市街地が形成される。